

## IV. 使用した調査票



# 令和5年度(第54回) 県政世論調査

令和5年8月

調査委託者 富山県知事政策局広報課  
調査受託者 株式会社ジェック経営コンサルタント



## 世論調査のお願いについて

この調査は、県民のみなさんが日頃の生活の中で感じていらっしゃることや、県の仕事についてどのようなご意見、あるいはご要望を持っておられるかをお伺いして、今後の県の政策に役立てることを目的としています。

あなたを対象として選ばせていただいたのは、無作為による統計的な方法によったものです。この調査でお聞きしたことを、他の目的に使ったり、個人の名前を出したりすることは絶対にありませんので、ぜひご協力をお願いいたします。

調査対象者ご自身をご記入いただきますようお願いいたします。

どちらかを選び、ご回答ください。

### ①本調査票の郵送によりお答えいただく方

⇒次ページよりお答えください。

- ・本紙へ直接ご記入ください。
- ・該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ・回答が終わりましたら同梱の返信用封筒に入れ、ご投函ください。  
(切手不要です。)

### ②インターネットでお答えいただく方

- ・下記のQRコードもしくは、下記サイトよりお入りください。
- ・利用者IDを必ずご入力ください。  
※IDは右上5桁の番号です。



(サイトURL)

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/lqk63Qb4>

※利用者IDは、インターネット回答を利用される際に必要です。また、郵送回答とインターネット回答の重複がないか確認するために使います。

回答の〆切は

**令和5年8月31日(木)** です。

【調査全般について】 富山県知事政策局広報課 県民の声担当まで  
TEL 076-444-8909 FAX 076-444-3478  
メール akoho@pref.toyama.lg.jp



次に、県政全般についてお聞きします



<政策の満足度について>

問1 あなたは県の政策に対してどの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかというえば	どちらともいえない	どちらかといえ	不満である

<経済対策・産業振興など>

1	景気対策(物価高騰対策などを含む)	1	2	3	4	5
2	新たな成長産業の育成	1	2	3	4	5
3	産学官連携によるものづくり産業の振興	1	2	3	4	5
4	未来を拓く起業チャレンジへの支援	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	1	2	3	4	5
6	中小企業の振興	1	2	3	4	5
7	デザインの振興と活用	1	2	3	4	5
8	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1	2	3	4	5
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	1	2	3	4	5
10	雇用の確保と人材の育成	1	2	3	4	5
11	農業生産の振興	1	2	3	4	5
12	森林の整備と林業の振興	1	2	3	4	5
13	水産業の振興	1	2	3	4	5
14	北陸新幹線の整備促進	1	2	3	4	5
15	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	1	2	3	4	5
16	利便性の高い道路ネットワークの整備	1	2	3	4	5
17	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	1	2	3	4	5
18	情報通信基盤の充実と活用	1	2	3	4	5
19	選ばれ続ける観光地づくり	1	2	3	4	5
20	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
21	中心市街地の賑わいの創出	1	2	3	4	5
22	国際観光の推進	1	2	3	4	5
23	富山のブランド力アップ	1	2	3	4	5

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえ ば	どちらともい えない	不満である といえ ば	不満である

<少子化対策・地域づくりなど>

24	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	1	2	3	4	5
25	子育て支援	1	2	3	4	5
26	家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	1	2	3	4	5
27	子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	1	2	3	4	5
28	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	1	2	3	4	5
29	大学教育・学術研究・科学技術の振興	1	2	3	4	5
30	生涯をとおした学びの推進	1	2	3	4	5
31	ふるさとを学び楽しむ環境づくり	1	2	3	4	5
32	芸術文化の振興	1	2	3	4	5
33	スポーツの振興	1	2	3	4	5
34	社会貢献活動の推進	1	2	3	4	5
35	若者の自立促進とチャレンジ支援	1	2	3	4	5
36	男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
37	元気な高齢者の活躍の場の拡大	1	2	3	4	5
38	人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	1	2	3	4	5
39	国際社会における地域づくり・人づくり	1	2	3	4	5
40	交流人口の拡大、定住・半定住の促進	1	2	3	4	5
41	自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	1	2	3	4	5
42	地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	1	2	3	4	5
43	農山漁村の活性化	1	2	3	4	5
44	豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	1	2	3	4	5

<医療福祉、環境保全、防災対策など>

45	地域総合福祉の推進	1	2	3	4	5
46	医療提供体制の充実	1	2	3	4	5
47	健康づくりと疾病対策の推進	1	2	3	4	5
48	高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5
49	障害者福祉の充実	1	2	3	4	5
50	食の安全確保と地産地消・食育の推進	1	2	3	4	5
51	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	1	2	3	4	5
52	自然環境の保全	1	2	3	4	5
53	生活環境の保全	1	2	3	4	5
54	水資源の保全と活用	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	満足している	どちらかといえ ば	どちらともい えない	不満である といえ ば	不満である
55 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保 . . . . .	1	2	3	4	5
56 県土保全の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
57 防災・危機管理体制の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
58 地震防災対策の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
59 雪に強いまちづくり . . . . .	1	2	3	4	5
60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり . . . . .	1	2	3	4	5
61 生活交通の確保 . . . . .	1	2	3	4	5
62 住環境の整備 . . . . .	1	2	3	4	5
63 消費生活の安全の確保 . . . . .	1	2	3	4	5

<人材の育成>

64 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子ども</span> 富山県や日本を担う子どもの育成 . . . . .	1	2	3	4	5
65 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">若者</span> 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進 . . . . .	1	2	3	4	5
66 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">女性</span> 女性の活躍とチャレンジへの支援 . . . . .	1	2	3	4	5
67 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">働き盛り</span> すべての人が活躍できる環境づくり（働き方改革など） . . . . .	1	2	3	4	5
68 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高齢者</span> エイジレス社会の実現 . . . . .	1	2	3	4	5

<県政運営>

69 オープンで分かりやすい県政 . . . . .	1	2	3	4	5
70 県民の自立と幸せを重視する県政 . . . . .	1	2	3	4	5
71 スピード重視の県政 . . . . .	1	2	3	4	5
72 現場重視で効率的な県政 . . . . .	1	2	3	4	5
73 市町村、地域の自立と支援（ワンチームとやまの推進など） . . . . .	1	2	3	4	5

<県政への要望について>

問2 問1の項目の1番～68番のうち（※69番～73番の<県政運営>は除きます）、いま、あなたがもっと力を入れてほしいと思っている県の政策はどれですか。  
5つ以内で選んでください。（下記の枠内に番号を記載してください。）

--	--	--	--	--

次に、個別の施策についてお聞きします



<ブランディング戦略について>

県では、富山の強みを一体的にPRできる「寿司」に焦点を絞り、「寿司」を入口として、伝統文化や食文化、自然環境など富山県が世界に誇る魅力を県内外の方々に知ってもらうことで、富山県のブランド力を強化する取組みを実施しています。

問3 あなたは、「寿司」をどの程度食べていますか。（「寿司」は、握り寿司、ます寿し、のり巻き、いなり寿司、ちらし寿司、地域に伝わるお寿司などを含みます。）

1. 月に4回程度以上食べる
2. 月に1～3回程度食べる
3. 年に数回程度食べる
4. 食べない

問4 あなたは、県内の「寿司」を県外の知人、友人等に積極的にお勧めしたいですか。

1. ぜひ勧めたい
2. どちらかと言えば勧めたい
3. どちらかと言えば勧めない
4. 勧めたくない



<ウェルビーイングについて>

令和4年2月に策定した「富山県成長戦略」では、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をビジョンとして掲げ、ウェルビーイング向上のための施策を実施することとしています。

問5 ウェルビーイングについてご存知か教えてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

問5-1 問5で、「1. 言葉も意味も知っている」と回答した方にお尋ねします。  
ウェルビーイングを知った主なきっかけを3つ以内で選んでください。

1. 新聞や雑誌、テレビなどの媒体
2. ホームページ（ウェブサイト）・SNS
3. 県のホームページ
4. 国の報告書等
5. 民間研究機関等の報告書等
6. 学校（授業）での取組み
7. 職場・仕事での取組み
8. 民間企業や各種団体での取組み（シンポジウム等）
9. その他（ )

<次の感染対策への備えについて>

県では、次の感染症危機に備え、感染症に係る医療提供体制の確保その他感染症の発生を予防し、又はそのまん延を防止するため、感染症予防計画を改定し、令和6年度以降の感染対策に取り組んでいくこととしております。

問6 新型コロナ感染症のこれまでの流行を踏まえ、今後の新たな感染症に備え、感染対策として特に充実した方が良いと思う取組みについて、次の中から3つ以内で選んでください。

- 1 入院病床の確保
- 2 発熱外来の確保
- 3 感染症以外の患者を受け入れる医療機関の確保
- 4 自宅療養者への支援の充実
- 5 医療従事者の確保・資質向上
- 6 高額な医療費への支援
- 7 治療薬の開発
- 8 ワクチンの開発
- 9 ワクチンの接種体制の充実
- 10 高齢者施設等での集団感染対策
- 11 保健所機能の強化、相談窓口の充実
- 12 検査体制の強化
- 13 感染状況の把握、情報発信
- 14 宿泊療養施設の確保・充実
- 15 不要不急の外出自粛要請や施設の使用制限、時短要請等
- 16 県民への感染拡大防止策の勧奨
- 17 その他 ( )

<犯罪の予防について>

問7 あなたは、自分や家族が、犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じることがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. よくある
2. たまにある
3. ほとんどない
4. まったくない

問7-1 問7で「1. よくある」「2. たまにある」と回答した方にお聞きします。  
どのような犯罪に不安を感じますか。次の中から当てはまるものを5つ以内で選んでください。

1. 殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪
2. 暴行、傷害等の粗暴な犯罪
3. 通り魔的犯罪
4. 空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪
5. 自転車を盗む犯罪、自動車内から物を盗む犯罪、落書き等の街頭での犯罪
6. 不審な声掛けやつきまとい事案
7. 強制わいせつ、痴漢事案
8. のぞき、盗撮事案
9. ストーカー、DV事案
10. オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺
11. 偽造クレジットカード等を利用したカード犯罪
12. ヤミ金融、悪質訪問販売業者等による悪質商法事案
13. インターネット（パソコン、スマートフォン）を利用したワンクリック詐欺やオークション詐欺等
14. インターネットを利用した（SNS等を介した）児童買春やリベンジポルノ等の性的犯罪
15. その他インターネットを利用した犯罪
16. 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物犯罪
17. 拳銃を使用した犯罪
18. ごみの不法投棄等の環境犯罪
19. 人が集まる場所やイベントでのテロ等の無差別殺傷事件
20. 子供に対する犯罪
21. 女性に対する犯罪
22. 高齢者に対する犯罪
23. 暴走族等若者による暴走行為
24. 暴力団による組織犯罪
25. 外国人による犯罪
26. 少年による犯罪
27. その他（ )

<地域交通について>

富山県では、持続可能な地域交通（鉄道、路面電車、バス、タクシーなど）の確保に向けて新しい計画を策定することとしており、「地域交通への満足度」を目標の1つとすることを検討しています。地域交通の利用状況や地域交通サービスに対する実感などについて、以下の質問にお答えください。

問8 普段の生活で県内の鉄道、路面電車、バス、タクシーなどをどの程度利用されますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 週5日以上利用
2. 週3～4日程度利用
3. 週1～2日程度利用
4. 月1～2日程度利用
5. 年1～2日程度利用
6. 利用しない

問9 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. はい
2. どちらかと言えればはい
3. どちらかと言えればいいえ
4. いいえ
5. 利用しないのでわからない

問10 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わりあいができた、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. はい
2. どちらかと言えればはい
3. どちらかと言えればいいえ
4. いいえ
5. 利用しないのでわからない

問11 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. はい
2. どちらかと言えばはい
3. どちらかと言えばいいえ
4. いいえ
5. 利用しないのでわからない

問12 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの利用促進のために重視する点はなんですか。次の中から当てはまるものを2つ以内で選んでください。

1. わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数
2. 誰もが快適に過ごせる駅やバス停の環境
3. 車両の更新、車両の増、混雑解消などによる快適な車内環境
4. 時刻、経路、運行状況などの充実した情報提供
5. 乗り放題サービスなど、お得感がある企画乗車券
6. その他 ( )

## <リカレント教育への取組みについて>

問13 現在、お勤めですか。

1. 勤めている（フェースシートのF3 本人職業の1～8に該当）
2. 現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中
3. いずれにも該当しない

問13-1 問13で「1. 勤めている」「2. 現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」と回答した方にお尋ねします。あなたはリカレント教育※（社会人の学び直し）として、現在、何か取り組んでいますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている
2. 講習会、研修会等に参加して、情報収集や学習をしている
3. 大学、専門学校、職業訓練機関等に通って学習している
4. 通信教育やインターネットの学習サービスにより学習している
5. 会社の同僚や友人、知人と勉強会を開催し、情報収集や学習をしている
6. その他（）
7. 何もしていない

※リカレント教育（社会人の学び直し）とは人生100年時代やIoT、AIなど第四次産業革命による急速な技術革新の進展等を見据え、社会人が職業能力（技術・知識）の向上を図り、キャリアアップ（昇進・昇格、正社員登用等）、キャリアチェンジ（転職）や起業、現在従事している仕事の改革・改善、定年後の就職など、人生の様々なステージで活躍できるようにする学び直しのこと。（いわゆる生涯学習とは違うもの。）

## <障害者福祉の充実について>

問14 障害のある人が、住み慣れた地域で安心して生活していくためには、皆さんとの日常的なふれあいや交流の促進が必要です。

あなたはこれまでに障害のある人に対し、どのような交流や手助けをしたことがありますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

(「障害のある人」とは、身体障害、知的障害又は精神障害がある方に限らず、発達障害(\*1)、高次脳機能障害(\*2)などの障害のある方や難病の方を含みます。

また、施設(特別養護老人ホーム等)に入所しておられる高齢者で障害のある方も念頭に置いてください。)

1. 電車やバスなどで席をゆずった
2. 電車やバスなどの乗降を手伝った
3. 横断歩道や階段で手助けをした
4. 店舗等への出入を手伝った
5. 車椅子を押した
6. レクリエーション活動を一緒にした
7. 家事や買い物などの身のまわりの世話をした
8. 相談相手、話相手になった
9. 手話や点訳などのボランティア活動を行った
10. 募金などの寄付を行った
11. 福祉施設等で製造した商品を購入した
12. 勉強や仕事を共に学んだり、教えたりした
13. 障害者の芸術作品展に行った
14. パラリンピック等障害者スポーツの応援に行った
15. その他(具体的に )
16. したことがない

※1 「発達障害」 自閉症、アスペルガー症候群等を含む広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳に何らかの機能障害があり、認知や言語、運動、社会的な能力や技術の獲得にかたよりや遅れがある状態をいう。

※2 「高次脳機能障害」 頭部外傷、脳血管障害等による脳の損傷の後遺症として生じる、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害。これに起因して、日常生活・社会生活への適応が困難となる場合がある。





## <食品ロスの削減について>

食品ロス削減は、国連のSDGs(持続可能な開発目標)で「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減する」という目標が設定されており、世界的な課題となっています。県では、令和2年4月に策定した「富山県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロス・食品廃棄物の削減に取り組む県民総参加の運動を展開しています。

食品ロスに関して、以下の質問にお答えください。

問16 あなたは、「食品ロス※」が問題となっていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. よく知っていた
2. ある程度知っていた
3. あまり知らなかった
4. ほとんど・全く知らなかった

※「食品ロス」とは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものです。また、「食品廃棄物」とは、食品ロスに加え、魚の骨や野菜の皮、調理油など、通常は食べられない部分も含んだものです。

日本では年間約2,402万トンの食品廃棄物等が排出されており、そのうち食品ロスは、年間約523万トンと試算(本県では食品廃棄物は年間約17.0万トン、うち食品ロスは4.3万トンと試算)され、資源・環境等の観点から大きな問題となっています。

問17 「食品ロス」の軽減につながる以下の工夫の中で、あなたが取り組んでいることはありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
2. すぐに食べるものは、消費期限(※<sup>1</sup>)・賞味期限(※<sup>1</sup>)の近いものから購入する
3. 商慣習の見直し(納品期限の緩和)を先行して進めている「飲料及び賞味期間180日以上菓子」について賞味期限の近いものから購入する
4. 店舗でのある程度の欠品を許容する
5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
6. 「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
7. 宴会等の食べ残しを減らすため、宴会の開始後30分と終了前15分に食事を楽しむ時間を設定する「3015運動(※<sup>2</sup>)」を実践する
8. 飲食店等で注文し過ぎない
9. 残さず食べる
10. フードドライブ(※<sup>3</sup>)に協力する
11. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
12. 取り組んでいることはない

※<sup>1</sup>「消費期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、表示の年月日まで、安全に食べられる期限のことで、この期限を過ぎたら食べないほうが良いとされています。

「賞味期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べることができる期限のことで、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。

※<sup>2</sup>「3015（さんまるいちご）運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動です。

〔食べきり3015運動〕：宴会時において、開宴後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動です。

〔使いきり3015運動〕：毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使いきる運動です。

※<sup>3</sup>「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動です。

## <食育の推進について>

県では、「県民の健康で豊かな暮らし」と「持続可能な食」の実現に向け、食育推進計画に基づき、食育を県民運動として推進しています。

食育に関して、以下の質問にお答えください。

問18 「第18回全国食育推進大会inとやま」を本年6月24日、25日に開催しましたが、あなたは、そのことを知っていましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 知っていた。参加した
2. 知っていた。しかし参加しなかった
3. 知らなかった。もし知っていたら参加したかった
4. 知らなかった。知っていても参加しなかった

問19 食育\*について、あなたはどのように考えますか。

1. たいへん重要であり、ぜひ取り組んでいくべき
2. 重要であり、取り組んでいくべき
3. やや重要であり、できれば取り組むことが望ましい
4. 重要でなく、取り組む必要はない
5. わからない

※食育：「食」の知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる取組み

問20 食育を推進するにあたって、行政にはどのような取組みを進めてもらいたいと考えますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 食育の意識向上の普及啓発（イベント、研修会等）
2. 多様なライフスタイル（共働き、一人暮らし等）に応じた調理教室
3. 農林漁業の体験活動
4. 地産地消など地場産食材の活用
5. 子どもの望ましい食習慣の形成
6. 栄養バランスや減塩など健全な食習慣の推進
7. 食べ残しをなくすなど食品ロス削減
8. その他（ )

<中山間地域の振興について>

中山間地域では、急速な人口の減少に伴う集落の空洞化、魅力ある多様な就業機会の不足、生活を支えるサービスの衰退等が、住民の暮らしに深刻な影響を及ぼし、地域社会の存続さえもが危ぶまれています。

中山間地域の振興に関して、以下の質問にお答えください。

問21 あなたは、県内の中山間地域の魅力は何だと思えますか。最も魅力があると思うものを次の中から1つ選んでください。

1. 自然や景色
2. 住みやすい環境
3. 人や人情
4. 伝承文化・芸能
5. 歴史、名所・旧跡
6. 食べ物・食文化
7. 特にない
8. わからない
9. その他 ( )

問22 あなたは、県内の中山間地域の魅力を向上するためにどのような取り組みが必要だと思えますか。次の中から当てはまものを3つ以内で選んでください。

1. 農林業の活性化
2. 田園風景や趣あるまちなみなど景観の保全
3. 農作業や味覚狩りなど体験プログラムの実施
4. 特産品の開発や地場産品を活用した食事の提供
5. 地域の見どころや祭りなどの情報発信の強化
6. 地域住民との交流の機会の創出
7. 空き家や廃校の活用
8. ICTインフラの強化
9. 地域公共交通の利便性の向上
10. 中山間地域への移住の促進
11. ワークেশョンのためのコワーキングスペースやシェアオフィスの充実
12. 鳥獣害対策の充実
13. わからない
14. その他 ( )

<里親制度について>

問23 さまざまな事情（実親の病気や死亡、実親による児童虐待など）で実親の養育が受けられない子どもたちがいますが、あなたはこのような子どもたちを家庭的な環境で養育する「里親」になってみたいですか。

1. 里親になってみたい
2. どちらかというとき里親になってみたい
3. どちらかというとき里親になりたくない
4. 里親になりたくない
5. どちらとも言えない

問23-2 問23で「1. 里親になってみたい」、「2. どちらかというとき里親になってみたい」と回答した方にお尋ねします。里親になってみたい理由は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 子どもが好きだから
2. 子育てをしたいから
3. 実子がないから
4. 家庭を必要とする子どもを助けたいから
5. 社会貢献をしたいから
6. 経済的に余裕があるから
7. 時間に余裕ができたから
8. 実子の子育てが終わったから
9. 補助金が出るから
10. 自分にもできそうと思ったから
11. その他（ )

問23-3 問23で「3. どちらかというとき里親になりたくない」、「4. 里親になりたくない」と回答した方にお尋ねします。里親になりたくない理由は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 興味がないから
2. 子どもを育てたいと思わないから
3. 漠然と大変そうだから
4. 里親制度についてよく知らないから
5. 専門的な知識やスキルが必要そうだから
6. どこに相談すればよいのかわからないから
7. 行政（児童相談所など）に問い合わせづらいから
8. 行政（児童相談所など）とのやりとりが面倒だから
9. 支援してくれる組織や体制がないと思うから
10. 経済的負担が心配だから
11. 仕事や生活への負担が心配だから

12. 時間がないから・忙しいから
13. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから
14. 実子の子育てが終わっていないから
15. 長期間、束縛されそうだから
16. 続けられる自信がないから
17. 子どもの人生を左右するので責任が重いから
18. 実子との関係が悪くなりそうだから
19. 近所・周囲の目があるから
20. 他人の子どもを育てることに抵抗があるから
21. 自分よりももっと向いている人がやれば良いから
22. 施設に任せたほうが良いから
23. 自分の身の回りには助けを必要としている子どもがないから
24. 家が狭いから
25. 里親の登録条件に合わないから
26. 家族・親戚が反対するから
27. その他 ( )

75%終了！もうひと踏ん張り！



次に、あなたの意識についてお聞きします



問24 次の設問について、あなたが普段どのように感じられたり、どのように思ったりされているかお聞かせください。

(1) あなたは、富山県は住みよい県だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に住みよい
2. まあまあ住みよい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

(2) これからも富山県に住みたいと思われませんか。次の中から1つ選んでください。(通学、転勤等により県外に転出される予定がある方についても、ご自身の意識としてお答えください。)

1. これからも富山県に住みたいと思う
2. 県外に転出したいと思う
3. わからない

(3) あなたは、仕事に充実感（満足感）を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に充実している
2. まあまあ充実している
3. どちらともいえない
4. あまり充実していない
5. まったく充実していない
6. 仕事をしていない

(4) あなたは「富山県」に対して、どの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. とても愛着がある
2. やや愛着がある
3. どちらでもない
4. あまり愛着がない
5. まったく愛着がない

(5) あなたは富山県のどのような点を誇りに思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと
2. 誇れる温泉やレジャー施設・公園などがあること
3. スポーツの参加・観戦が楽しめること
4. 伝統芸能、祭り、イベントがあること
5. 誇れる街並みや歴史建造物があること
6. 歴史人物、著名人、職人などにゆかりがあること
7. 誇れる美術館・博物館があること
8. 土産や地域産品があること
9. 優れた伝統技術があること
10. 誇れる商店街や店舗があること
11. 地元産の食材が豊富なこと
12. 食事がおいしいこと
13. 道路や交通の便が良いこと
14. 誇れる宿泊施設があること
15. 人のよさや優しさ、おもてなしがよいこと
16. 地域を代表する産業や企業があること
17. 教育（教育機関・博物館等）が充実していること
18. 子育てがしやすい環境なこと
19. 医療や福祉が充実していること
20. 行政サービスが充実していること
21. 災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること
22. 財政が健全であること
23. メディアでよく取り上げられること
24. 他都道府県民からうらやましく思われること

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. たくさんある
2. 少しはある
3. ない



(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に充足されている
2. ある程度充足されている
3. あまり充足されていない
4. まったく充足されていない
5. わからない

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に果たしている
2. ある程度果たしている
3. あまり果たしていない
4. まったく果たしていない
5. わからない

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習<sup>※</sup>を行ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. ある
2. ない

※ 生涯学習とは、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していないが、今後は参加したい
4. 参加していないし、今後も参加したくない

あともうすこしです！



最後に「学びの選択肢に関するアンケート」です。  
「学び直し」などに関するあなたのご意見をお聞かせください。



文部科学省の調査結果によると、不登校児童生徒数や日本語指導が必要な児童生徒数が過去最多を更新しており、学校教育に馴染めない児童生徒の支援についての議論が求められています。また、リカレント教育や時代の変化による教育の多様化も注目されています。

こうしたなか、富山県では、すべての人々が学びを断念することなく、キャリアアップやキャリアチェンジの道を拓くために、学びの選択肢のあり方について検討したいと考えています。

問25 あなたはもっと学びたい・学び直したいという気持ちがありますか。

次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. はい、もっと学びたい・学び直したい
2. 学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない
3. いいえ、特に学びたいとは思わない

問25-1 問25で「1. もっと学びたい・学び直したい」「2. 学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」と回答した方にお尋ねします。

あなたが学びたい・学び直したい理由は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 仕事で困っているから
2. 生活で困っているから
3. 学校の卒業資格を得たいから
4. 資格や免許を取得したいから
5. スキルアップしたいから
6. 勉強することが好きだから
7. 学校に通っていたときに十分学習できなかったから
8. 仕事や生活に役立つ知識を得たいから
9. 生活を豊かにするために教養を深めたいから
10. 視野を広げたいから
11. 学びを通して色々な人と交流したいから
12. その他 ( )

問25-1-1 問25-1で「7.学校に通っていたときに十分学習できなかったから」と回答した方にお尋ねします。学習できなかった原因は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 事情があり欠席が多かった
2. 学習に集中できなかった
3. 教師の教え方が良くなかった

4. 日本語の理解力が不足していた
5. 不登校だった
6. 中退した
7. その他 ( )

問25-2 問25で「1. はい、もっと学びたい・学び直したい」「2. 学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」と回答した方にお尋ねします。どんなことを学びたい・学び直したいと思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 義務教育（小学校・中学校）で学習する内容
2. 高校で学習する内容
3. 職業に結びついた専門的な知識・技術
4. 高度に専門的な内容および研究
5. 外国（母国）のカリキュラム
6. 世界共通のカリキュラム（IBプログラム※）
7. とりあえず学校に入ってから決定
8. 学校行事や係活動などの活動を通じた新しい学び
9. 語学（日本語）
10. 語学（日本語以外）
11. 仕事や生活に必要な基礎的な算数
12. 仕事や生活に必要な読み書き（漢字など）
13. 生活を豊かにするための幅広い知識
14. 特定の分野に関する深い知識
15. その他 ( )

※<IBプログラムについて>

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) は、ジュネーブに本部がある国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムです。IBのディプロマ・プログラム (DP) では国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) を取得することが可能で、海外の多くの大学 (100カ国以上20,000校以上) で入学資格として認められています。

問25-3 問25で「1. はい、もっと学びたい・学び直したい」「2. 学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」と回答した方にお尋ねします。どのような環境や方法で学びたい・学び直したいですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 対面授業で
2. オンライン授業で
3. 自分一人で（テレビ・ラジオ・オンデマンド動画・本など）
4. あまり学費がかからないところ・方法で
5. 家の近くにある学校や教室で
6. 働きながら通いやすい時間帯（夕方以降・短時間など）で

7. 同じ属性（年齢・性・国・宗教・障害等の特性など）の人と
8. 多様な人（年齢・性・国・宗教・障害等の特性など）と
9. 海外の学校で
10. 好きな時に少人数で
11. 興味のあるテーマの講演会、学会・研究会などで
12. 家庭教師で
13. 職場で仕事をしながら
14. 英語など日本が以外の言語で
15. その他（ ）

問25-4 問25で「2. 学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」と回答した方にお尋ねします。実際に学ぶ・学び直すことができないのはなぜですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 時間的に余裕がないから
2. 経済的にハードルが高いから
3. 周囲（家族や親族など）の協力が得られるか分からないから
4. 意志を貫く自信がないから
5. その他（ ）

問26 あなたの最終学歴を教えてください。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 小学校
2. 中学校
3. 高等学校
4. 高等専門学校
5. 専門学校
6. 短期大学
7. 大学
8. 修士課程（博士前期課程）
9. 博士課程（博士後期課程）
10. その他（ ）

※ 調査は以上で終了です。

ご協力ありがとうございました。

